

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	保健体育	科 目	体育	学 年	1	類 型	共通
単位数	2	教科書	現代高等保健体育		出版社	大修館書店	
副教材	ステップアップ高校スポーツ2022						

学習の到達目標

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

授業の概要

- ・体力の強化を図るとともに積極的に授業に取り組む姿勢を養います。
- ・集団の中の個人であること（意識の統一・やる気の共有）を自覚した行動をとると同時に、体力の向上を図ります。
- ・アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、各種の運動を実践することで、自主的かつ安全に配慮する力を身に付けると同時に、運動の知識を深めます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりと、下記の評価項目により

観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価の対象	技能テスト・授業ノート 授業時の観察など	グループ活動・授業ノート 授業時の観察など	学習への参加状況・振り返りシート ループリック・授業時の観察など
備 考	・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学 期	集団行動 体づくり運動 ・ 集団走 ・ 体ほぐし運動 ・ 体力を高める運動 ・ 新体力テスト	・ 集団行動の行い方を学び、効率的に行動することができる。 ・ 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。 ・ 自己の体力・運動能力の状態を把握することができる。	1 学期 期末考査
	球技 ・ ソフトボール ・ バレーボール ・ テニス	・ 各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 スポーツの発祥と発展 ・ スポーツの始まりと変遷 ・ 文化としてのスポーツ	・ スポーツの始まりと発展について考察する。 ・ スポーツを文化としてとらえることができる。	
2 学 期	体づくり運動 ・ 体ほぐし運動 ・ 体力を高める運動	・ 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。	2 学期 期末考査
	球技 ・ サッカー ・ バスケットボール ・ バドミントン	・ 各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 スポーツの発祥と発展 ・ オリンピックとパラリンピックの意義 ・ スポーツが経済に及ぼす効果	・ オリンピズムとオリンピックムーブメントについて考察する。 ・ スポーツの経済波及効果について考察する。	
3 学 期	陸上競技 ・ 持久走	・ 持久力の向上を図ることができる。	学年末考査
	球技 ・ サッカー ・ バスケットボール ・ バドミントン	・ 各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 スポーツの発祥と発展 ・ スポーツの高潔さとドーピング ・ スポーツと環境	・ 求められるスポーツ倫理について考察する。 ・ スポーツにおける環境問題について考察する。	

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	保健体育	科 目	保健	学 年	1	類 型	共通
単位数	1	教科書	現代高等保健体育		出版社	大修館書店	
副教材	現代高等保健体育ノート						

学習の到達目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

授業の概要

- ・教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行います。
- ・アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、視聴覚機器の活用や調べ学習など主体的な学習を行うことで、内容を理解し、知識を深めます。
- ・健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察など	定期考査・課題レポート 授業時の観察など	学習への参加状況 振り返りシート・ルーズリックなど
備 考	・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学 期	現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	- 健康の成り立ちとそれにかかわる要因について理解する。 - わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解する。	1 学期 期末考査
	3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復	- 生活習慣病の種類や要因、一次予防、二次予防について理解する。 - がんの種類や要因、一次予防、二次予防について理解する。 - がんの治療法や緩和ケア、がん検診の普及、社会的な対策について理解する。	
	6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	- 健康から見た運動の意義について理解する。 - 健康的な食生活の重要性と意義について理解する。 - 健康から見た休養・睡眠の意義について理解する。	
2 学 期	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	- 喫煙の健康影響と依存性について理解する。 - 飲酒による健康影響と社会問題について理解する。 - 薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響を理解する。	2 学期 期末考査
	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	- 精神疾患の発病の要因について理解する。 - 精神疾患の予防法や早期発見のために必要なことを理解する。 - 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境を理解する。	
	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	- 感染症は社会・自然環境の影響を受けることを理解する。 - 感染症予防の原則を理解する。 - 性感染症・エイズを予防するための個人・社会が行う対策について理解する。	
3 学 期	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	- 意思決定・行動選択に影響を与える要因及びその工夫について理解する。 - ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について理解する。	学年末考査
	安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	- 交通事故の現状とその要因について理解する。 - 安全のために必要な個人の行動や環境整備について理解する。 - 交通事故防止における交通環境の整備、交通事故における責任を理解する。	
	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	- 応急手当の意義やその手順について理解する。 - 日常的なけがや熱中症の応急手当について理解する。 - 心肺蘇生の原理と意義、手順について理解する。	